

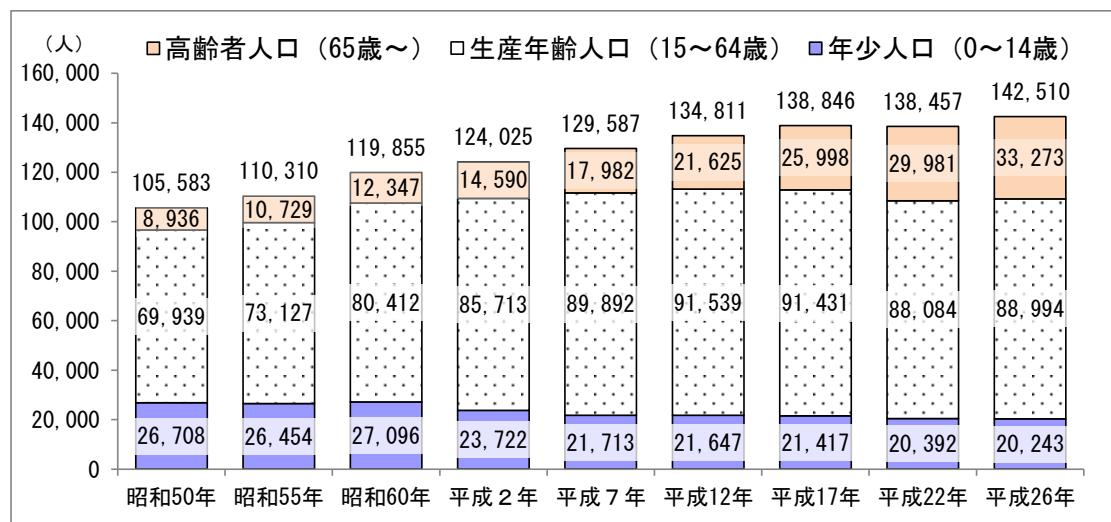
第2章 障害のある方を取り巻く現状

1 人口と障害者手帳発行状況

(1) 人口の推移

本市の人口は増加傾向にあり、平成26年3月31日現在では142,510人となっています。年齢3区分別でみると、0～14歳（年少人口）及び15～64歳人口（生産年齢人口）は、減少傾向にあります。65歳以上人口（高齢者人口）は増加傾向にあります。

図表1：年齢3区分別人口の推移

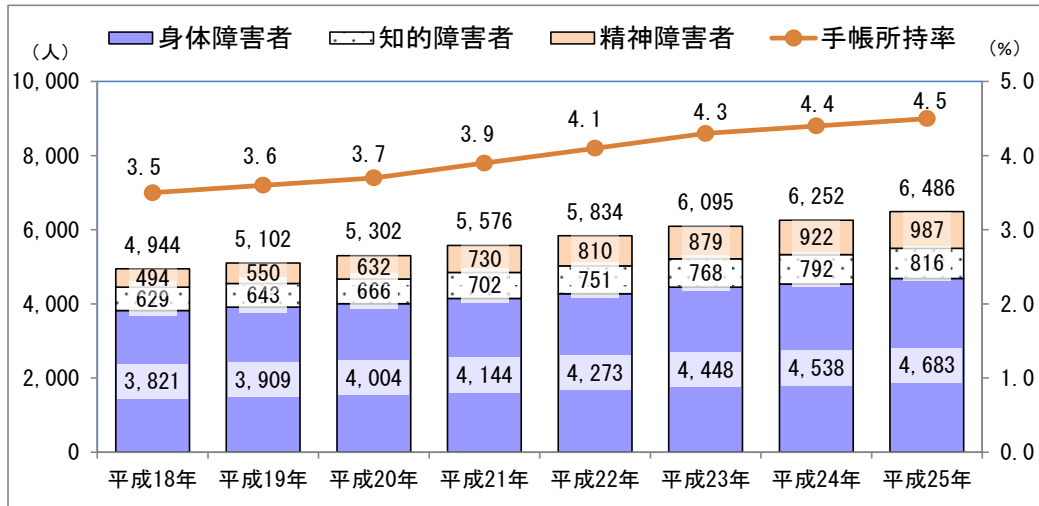


資料：昭和50年～平成22年までは総務省「国勢調査」各年10月1日、平成26年は3月末現在の住民基本台帳及び外国人登録人口

(2) 障害別手帳所持率の推移

本市における、総人口に占める障害者手帳所持者の割合は、年々増加傾向にあり、平成25年3月31日現在、障害者手帳を所持している人は6,486人となっています。平成18年からの推移をみると、7年間で1,542人増加しています。障害別でみると、いずれの障害も増え続けており、特に精神障害者数は大幅に増加しています。

図表2：手帳所持率及び障害児者別手帳発行数の推移

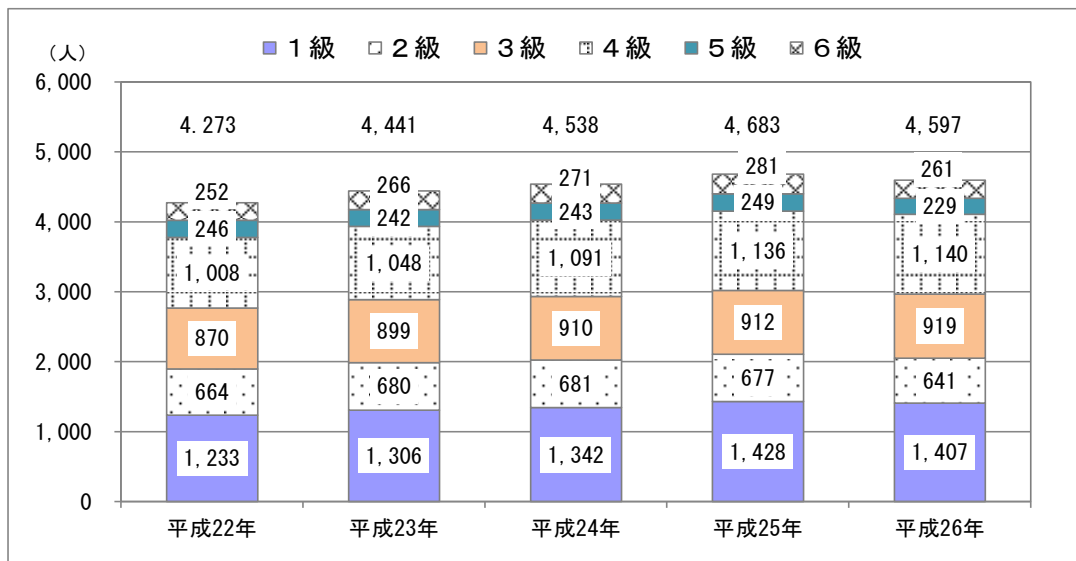


資料：三重県障害者相談支援センター事業概要、各年4月1日現在。率は桑名市の人口を母数として算出。

(3) 障害の等級別身体障害者手帳所持者数の推移

平成26年4月1日現在の身体障害者手帳所持者を障害等級別でみると、最も重度である「1級」が1,407人と最も多くなっています。次いで「4級」が1,140人、「3級」が919人、「2級」が641人となっており、「1級」と「2級」の重度の人が全体の44.6%を占めています。

図表3：障害の等級別身体障害者手帳所持者数の推移



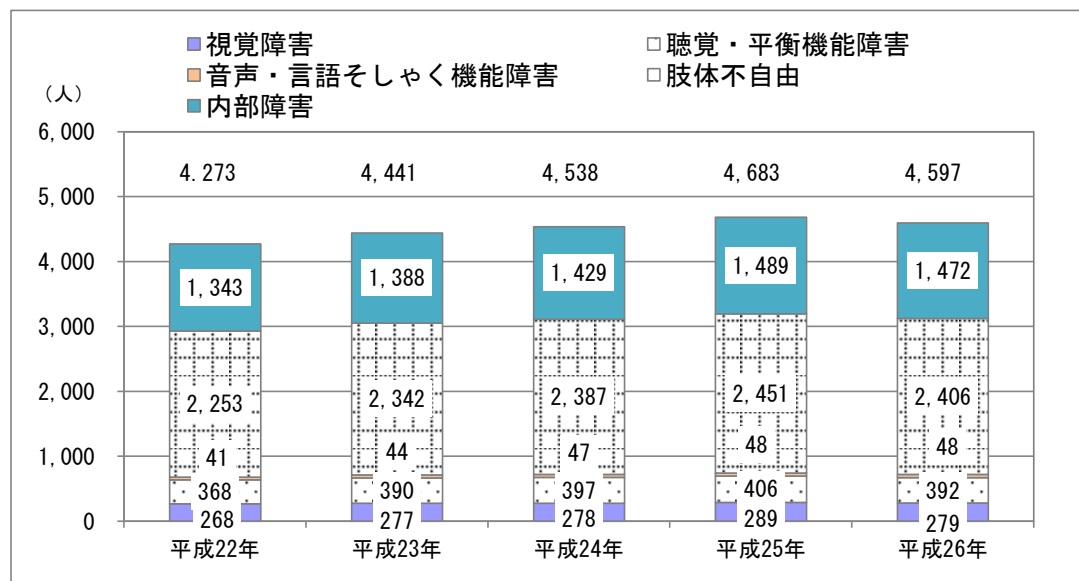
資料：三重県障害者相談支援センター事業概要、各年4月1日

第2章 障害のある方を取り巻く現状

(4) 障害の種類別身体障害者手帳所持者数の推移

平成26年4月1日現在の身体障害者手帳所持者を障害の種類別で見ると、肢体不自由が2,406人と最も多く、身体障害者全体の約5割（52.3%）を占めており、次いで内部障害が1,472人、聴覚・平衡機能障害が392人、視覚障害が279人、音声・言語そしゃく機能障害が48人の順となっています。

図表4：障害の種類別身体障害者手帳所持者数の推移



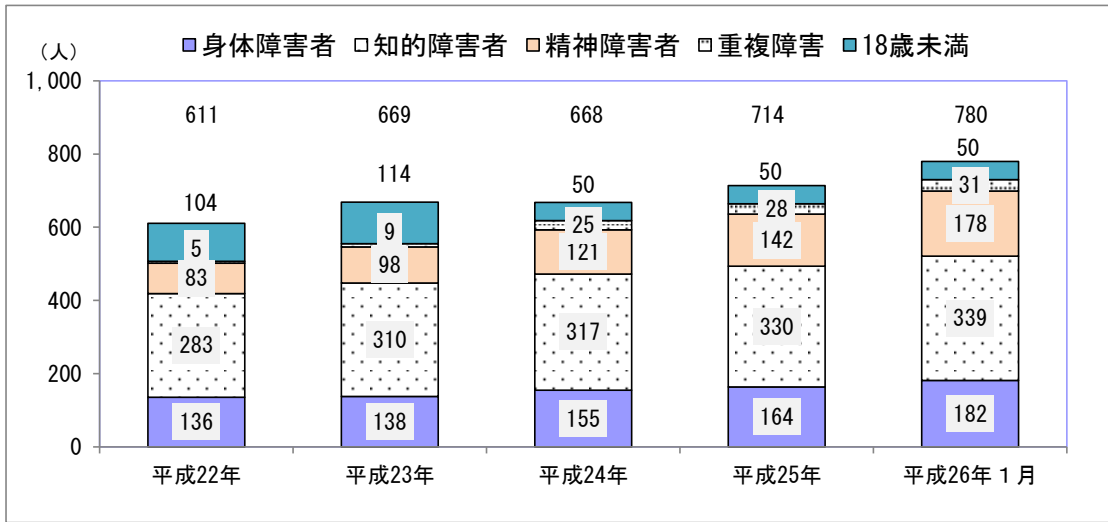
資料：三重県障害者相談支援センター事業概要、各年4月1日

2 障害福祉サービス等の状況

(1) 障害福祉サービス支給決定者数の推移

平成26年1月現在、障害福祉サービス支給決定者は780人となっています。平成22年からの推移をみると、年々増加傾向にあり、4年間で149人増加しています。障害別で見ると、精神障害者及び重複障害者が大幅に増加しています。

図表5：障害福祉サービス支給決定者数の推移

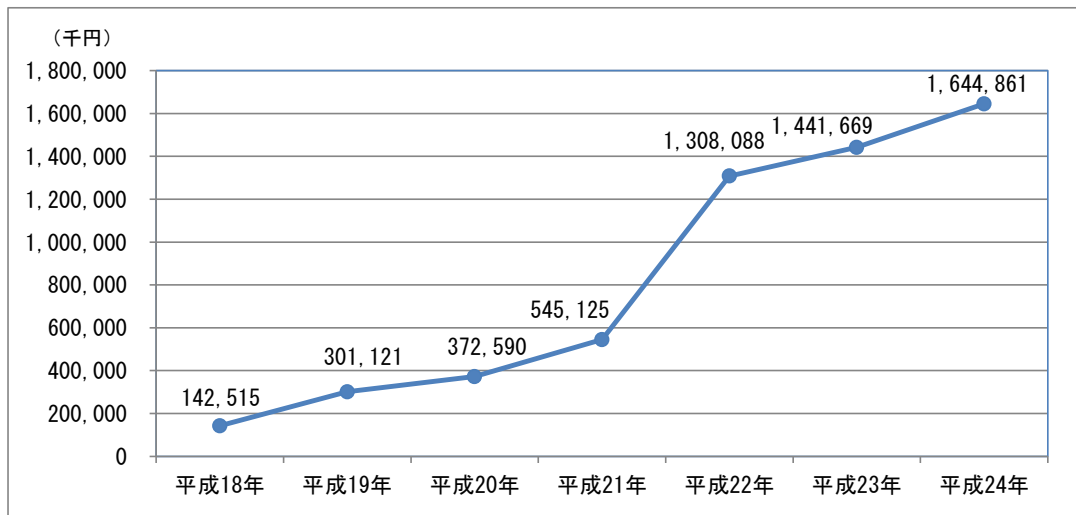


* 各年4月1日現在

(2) 障害福祉サービス給付費の推移

障害福祉サービス給付費は、平成22年度の低所得（市町村民税非課税）の障害者及び障害児の福祉サービス及び補装具に係る利用料負担の無料化に伴い、給付費は大幅に増加しており、平成24年では1,644,861千円となっています。

図表6：障害福祉サービス給付費の推移



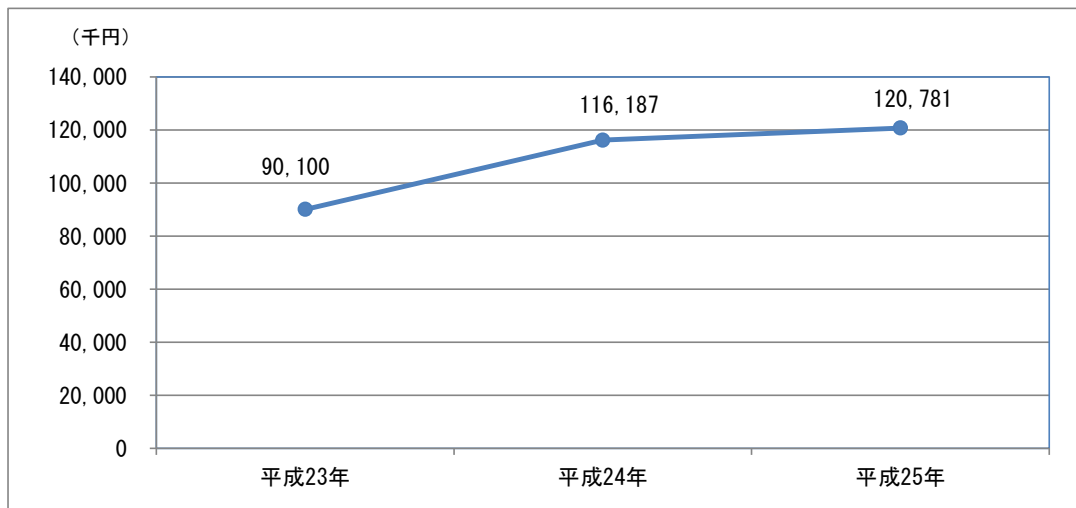
資料：桑名市一般会計歳入歳出決算書

第2章 障害のある方を取り巻く現状

(3) 訪問系サービス給付費の推移

訪問系サービスの給付費は、年々増加傾向にあり、平成25年では120,781千円となっています。

図表7：年次別訪問系サービス給付費の推移

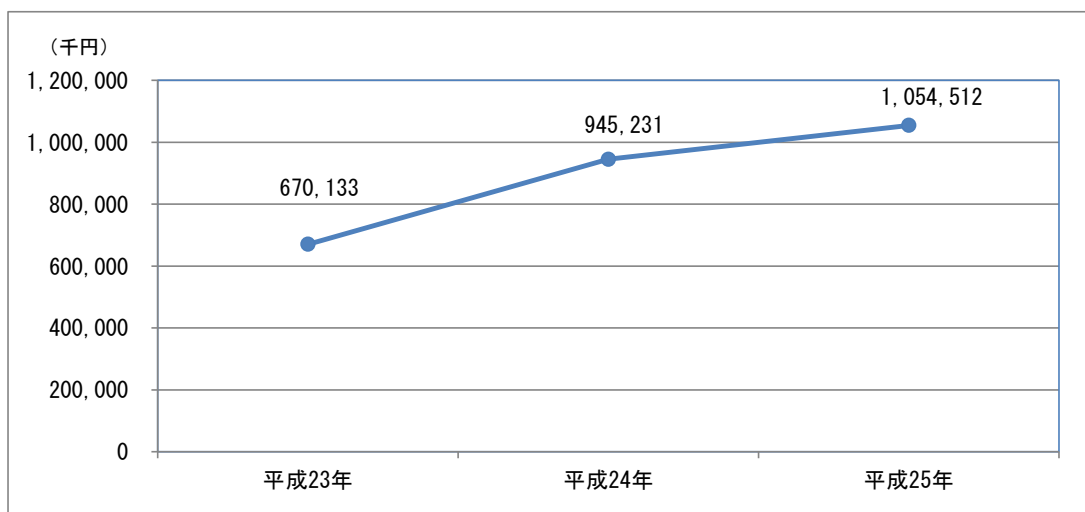


資料：桑名市一般会計歳入歳出決算書

(4) 日中活動系サービス給付費の推移

日中活動系サービスの給付費は、年々増加傾向にあり、平成25年では1,054,512千円となっています。

図表8：年次別日中活動系サービス給付費の推移

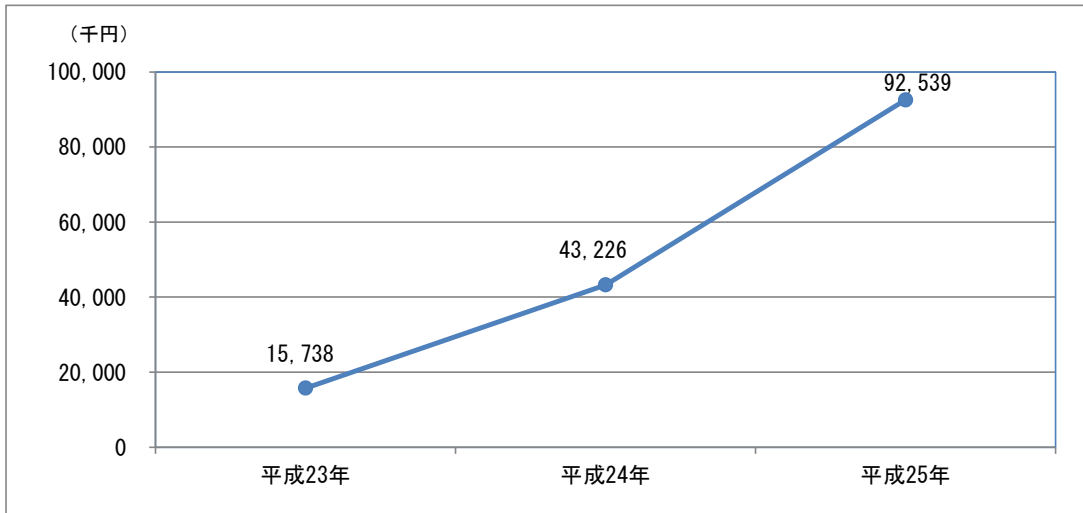


資料：桑名市一般会計歳入歳出決算書

(5) 障害児サービス給付費の推移

障害児サービスの給付費は、平成25年では92,539千円となっています。

図表9：年次別障害児サービス給付費の推移

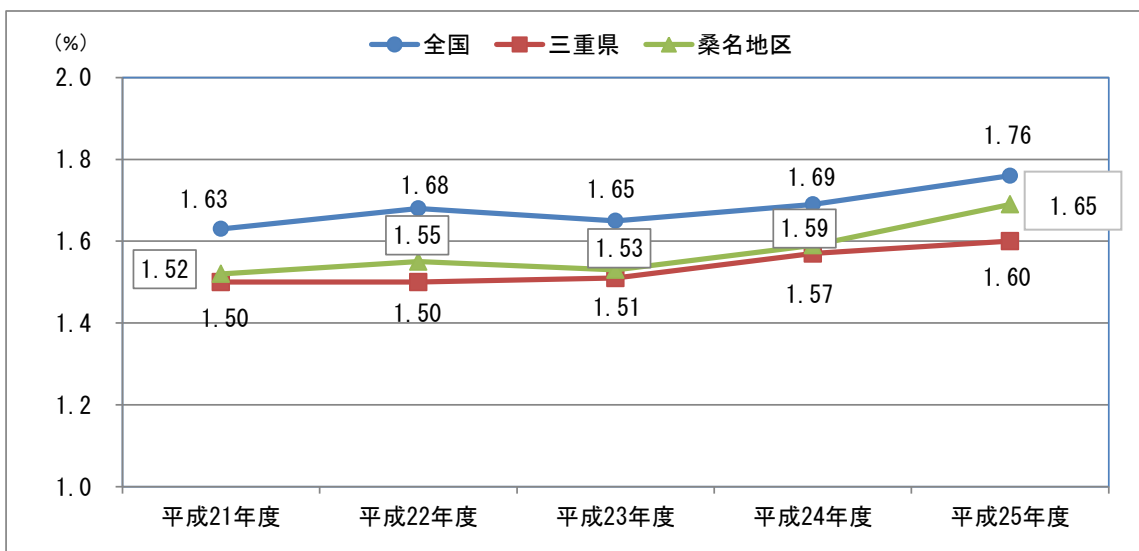


資料：桑名市一般会計歳入歳出決算書

(6) 障害者雇用率

平成25年度の桑名地区の障害者雇用率は1.65%となっており、三重県より高く、全国に比べて低くなっています。また、平成21年度からの推移をみると、増減を繰り返しながらも増加傾向にあります。

図表10：障害者雇用率の推移



資料：桑名公共職業安定所 障害者の雇用状況

3 市内の福祉関係施設・事業所の状況

事業の種類	事業所数	定員(人)
居宅介護	12 箇所	—
重度訪問介護	8 箇所	—
同行援護	6 箇所	—
児童発達支援	1 箇所	30
放課後等デイサービス	5 箇所	50
施設入所支援	1 箇所	40
計画相談支援	3 箇所	—
短期入所	2 箇所	24
生活介護	8 箇所	119
自立訓練（生活訓練）	1 箇所	20
就労移行支援	1 箇所	20
就労継続支援A型	8 箇所	140
就労継続支援B型	12 箇所	222
共同生活援助（グループホーム）	3 箇所	29

資料：三重県健康福祉部 障害福祉課 指定事業所一覧（平成26年11月1日現在）

4 これまでの取組と課題

(1) 障害福祉サービス

①訪問系サービス

訪問系サービスは、居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護、重度障害者等包括支援からなるサービスであり、障害者が居宅等において日常の生活を営む上で必要な便宜を供与するサービスです。

計画見込量を超えているサービスはありませんが、平成25年度から平成26年度にかけて、重度障害者等包括支援以外のサービスで、利用が増加しています。

訪問系サービスの利用量推移（単位：1月あたり）

サービス名			平成24年度	平成25年度	平成26年度
居宅介護	計画見込量	人	100	110	120
		時間	1,700	1,870	2,040
	利用実績	人	96	104	114
		時間	1,609	1,584	1,905
	進捗率	人	96.0%	94.5%	95.0%
		時間	94.6%	84.7%	93.4%
重度訪問介護	計画見込量	人	1	1	2
		時間	600	600	900
	利用実績	人	1	1	2
		時間	424	470	620
	進捗率	人	100.0%	100.0%	100.0%
		時間	70.7%	78.3%	68.9%
同行援護	計画見込量	人	20	23	26
		時間	140	161	182
	利用実績	人	13	14	16
		時間	93	141	144
	進捗率	人	65.0%	60.9%	53.8%
		時間	66.4%	87.6%	79.1%

第2章 障害のある方を取り巻く現状

サービス名			平成24年度	平成25年度	平成26年度
行動援護	計画見込量	人	11	12	13
		時間	120	130	140
	利用実績	人	7	3	7
		時間	65	37	84
	進捗率	人	63.6%	25.0%	53.8%
		時間	54.2%	28.5%	60.0%
重度障害者等 包括支援	計画見込量	人	0	0	0
		時間	0	0	0
	利用実績	人	0	0	0
		時間	0	0	0
	進捗率	人	0.0%	0.0%	0.0%
		時間	0.0%	0.0%	0.0%

※利用実績は、三重県国民健康連合会 障害福祉サービス費等の支払い情報による

※進捗率については、「人」「時間」「人日」の見込量に対する実績から算出した進捗率である。

※「時間」は、年間のサービス提供時間である。

※「人日」は、「1か月あたりの利用人数」×「1人1か月あたりの平均利用日数」で算出されるサービス量である。

②日中活動系サービス

日中活動系サービスは、生活介護、自立訓練（機能訓練）、自立訓練（生活訓練）、就労移行支援、就労継続支援（A型）、就労継続支援（B型）、療養介護、短期入所の8つに整理されています。

計画見込量を超えているサービスは、自立訓練（生活訓練）、就労継続支援（A型）、就労継続支援（B型）があり、かつては施設がなかったため利用者が少ない状況でしたが、現在は施設の増加に伴い、利用者も増加しています。

日中活動系サービスの利用量推移（単位：1月あたり）

サービス名			平成24年度	平成25年度	平成26年度
生活介護	計画見込量	人	240	260	280
		人日	4,560	4,940	5,320
	利用実績	人	235	234	258
		人日	4,465	4,446	4,902
	進捗率	人	97.9%	90.0%	92.1%
		人日	97.9%	90.0%	92.1%
自立訓練 （機能訓練）	計画見込量	人	2	2	3
		人日	44	44	66
	利用実績	人	0	1	1
		人日	0	18	1
	進捗率	人	0.0%	50.0%	33.3%
		人日	0.0%	40.9%	1.5%
自立訓練 （生活訓練）	計画見込量	人	3	3	4
		人日	54	54	72
	利用実績	人	4	16	19
		人日	72	240	285
	進捗率	人	133.3%	533.3%	475.0%
		人日	133.3%	444.4%	395.8%
就労移行支援	計画見込量	人	15	20	25
		人日	270	360	450
	利用実績	人	9	6	8
		人日	162	102	136
	進捗率	人	60.0%	30.0%	36.0%
		人日	60.0%	28.3%	30.2%

第2章 障害のある方を取り巻く現状

サービス名			平成24年度	平成25年度	平成26年度
就労継続支援 (A型)	計画見込量	人	20	30	40
		人日	360	540	720
	利用実績	人	38	75	114
		人日	722	1,425	2,736
	進捗率	人	190.0%	250.0%	285.0%
		人日	200.6%	263.9%	380.0%
就労継続支援 (B型)	計画見込量	人	160	170	180
		人日	2,880	3,060	3,240
	利用実績	人	167	184	212
		人日	3,006	3,312	3,816
	進捗率	人	104.4%	108.2%	117.8%
		人日	104.4%	108.2%	117.8%
療養介護	計画見込量	人	12	12	12
	利用実績	人	12	12	12
	進捗率	人	100.0%	100.0%	100.0%
短期入所	計画見込量	人	45	50	55
		人日	261	290	319
	利用実績	人	45	47	53
		人日	225	282	318
	進捗率	人	100.0%	94.0%	96.4%
		人日	86.2%	97.2%	99.7%

※利用実績は、三重県国民健康保険連合会 障害福祉サービス費等の支払い情報による

③居住系サービス

生活の場の提供である居住系サービスは、共同生活援助（以下「グループホーム」という。）、施設入所支援に整理されます。共同生活介護（ケアホーム）は、平成26年4月1日から共同生活援助に一元化されました。

グループホームは、利用実績が計画見込量に対して下回っていますが、地域で生活したいというニーズや親亡き後の生活の場としてのニーズが高まっており、受け皿が不足している状況であると考えられます。

施設入所は、利用実績が計画見込み量に対して上回っている状況です。

居住系サービスの利用量推移（単位：1月あたり）

サービス名		平成24年度	平成25年度	平成26年度
共同生活援助 (グループホーム)	計画見込量	人 90	100	110
	利用実績	人 83	81	85
	進捗率	人 92.2%	81.0%	77.3%
施設入所支援	計画見込量	人 114	111	107
	利用実績	人 118	121	117
	進捗率	人 103.5%	109.0%	109.3%

※利用実績は、三重県国民健康保険連合会 障害福祉サービス費等の支払い情報による

④相談支援

相談支援は、障害者の自立した生活を支え、障害者の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントによりきめ細かく支援するサービスです。また、地域移行支援は住居の確保その他の地域における生活に移行するための活動に関する相談等に応じ、地域定着支援は常時の連絡体制を確保するとともに、障害の特性を原因として生じた緊急の事態にも対応します。

平成24年4月より、支給決定プロセスの見直しにより、計画相談の対象者が障害福祉サービスを申請した障害者等へと大幅に拡大しました。そのため、計画を作成する特定相談支援事業所の確保が難しい状況です。

第2章 障害のある方を取り巻く現状

相談支援の利用量推移（単位：1月あたり）

サービス名			平成24年度	平成25年度	平成26年度
計画相談支援	計画見込量	人	20	60	120
	利用実績	人	3	15	41
	進捗率	人	15.0%	25.0%	34.2%
地域移行支援	計画見込量	人	10	12	15
	利用実績	人	2	2	0
	進捗率	人	20.0%	16.7%	0.0%
地域定着支援	計画見込量	人	5	7	10
	利用実績	人	0	1	1
	進捗率	人	0.0%	14.3%	10.0%

⑤障害児支援サービス

障害児支援サービス*は、児童福祉法に規定された下記のサービスです。

本市の放課後等デイサービスの事業所は、平成24年度は1か所でしたが、平成26年10月現在では6か所に増加したことにより、利用者が大幅に増加しました。

児童発達支援等の利用量推移（単位：人、1月あたり）

サービス名			平成24年度	平成25年度	平成26年度
児童発達支援	利用実績	人	29	30	40
放課後等デイサービス		人	61	97	115
保育所等訪問支援		人	0	0	0
医療型児童発達支援		人	0	0	0
障害児相談支援		人	0	20	160

*第3期障害福祉計画では、計画見込み量を定めないことにしました。

(2) 地域生活支援事業

○必須事業

地域生活支援事業の必須事業には、相談支援事業、成年後見制度利用支援事業、コミュニケーション支援事業、日常生活用具給付等事業、移動支援事業、地域活動支援センター事業があります。

①相談支援事業

本市では、平成26年10月現在2か所の障害者総合支援センターを設置し、障害のある方やその家族、介護者等からの相談に応じ必要な情報提供を行っています。

相談支援事業の利用量推移（単位：年間）

サービス名			平成24年度	平成25年度	平成26年度
相談支援事業	計画見込量	人	5,350	5,400	5,450
	利用実績	人	7,579	8,622	9,000
	進捗率	人	141.7%	159.7%	165.1%

②成年後見制度利用支援事業

成年後見制度利用支援事業の利用量推移（単位：年間）

サービス名			平成24年度	平成25年度	平成26年度
成年後見制度 利用支援事業	計画見込量	人	3	3	4
	利用実績	人	2	3	0
	進捗率	人	66.7%	100.0%	0.0%

③コミュニケーション支援事業

コミュニケーション支援事業の利用量推移（単位：1月あたり）

サービス名			平成24年度	平成25年度	平成26年度
コミュニケー ション支援事業	計画見込量	人	233	241	250
	利用実績	人	240	271	276
	進捗率	人	103.0%	112.4%	110.4%

第2章 障害のある方を取り巻く現状

④日常生活用具給付等事業

日常生活用具給付等事業の利用量推移（単位：年間）

サービス名			平成24年度	平成25年度	平成26年度
日常生活用具 給付等事業	計画見込量	件	1,355	1,420	1,485
	利用実績	件	1,125	1,268	1,040
	進捗率	件	83.0%	89.3%	70.0%

⑤移動支援事業

移動支援事業の利用量推移（単位：1月あたり）

サービス名			平成24年度	平成25年度	平成26年度
移動支援事業	計画見込量	人	52	57	62
	利用実績	人	136	155	166
	進捗率	人	261.5%	271.9%	267.7%

⑥地域活動支援センター事業

地域活動支援センター事業の利用量推移（単位：1月あたり）

サービス名			平成24年度	平成25年度	平成26年度
地域活動支援 センター事業	計画見込量	人	59	60	60
	利用実績	人	60	42	41
	進捗率	人	101.7%	86.7%	68.3%

○任意事業

地域生活支援事業の任意事業は以下のサービスです。

①知的障害者職親委託事業

知的障害者職親委託事業の利用量推移（単位：年間）

サービス名			平成24年度	平成25年度	平成26年度
知的障害者職親 委託事業	計画見込量	人	5	5	6
	利用実績	人	5	5	4
	進捗率	人	100.0%	100.0%	66.7%

②パソコン研修

パソコン研修の利用量推移（単位：年間）

サービス名			平成24年度	平成25年度	平成26年度
パソコン研修	計画見込量	人	10	10	10
	利用実績	人	10	10	10
	進捗率	人	100.0%	100.0%	100.0%

③歩行訓練

歩行訓練の利用量推移（単位：年間）

サービス名			平成24年度	平成25年度	平成26年度
歩行訓練	計画見込量	人	5	5	5
	利用実績	人	5	9	9
	進捗率	人	100.0%	180.0%	180.0%

第2章 障害のある方を取り巻く現状

④点字教室

点字教室の利用量推移（単位：年間）

サービス名			平成24年度	平成25年度	平成26年度
点字教室	計画見込量	人	5	5	5
	利用実績	人	4	4	4
	進捗率	人	80.0%	80.0%	80.0%

⑤自動車運転免許取得助成事業

自動車運転免許取得助成事業の利用量推移（単位：年間）

サービス名			平成24年度	平成25年度	平成26年度
自動車運転免許 取得助成事業	計画見込量	件	2	3	3
	利用実績	件	3	3	3
	進捗率	件	150.0%	100.0%	100.0%

⑥自動車改造費助成事業

自動車改造費助成事業の利用量推移（単位：年間）

サービス名			平成24年度	平成25年度	平成26年度
自動車改造費 助成事業	計画見込量	件	8	9	9
	利用実績	件	5	4	4
	進捗率	件	62.5%	44.4%	44.4%

⑦日中一時支援事業

日中一時支援事業の利用量推移（単位：1月あたり）

サービス名			平成24年度	平成25年度	平成26年度
日中一時支援 事業	計画見込量	人	132	138	144
	利用実績	人	203	223	219
	進捗率	人	153.8%	161.6%	152.1%

5 障害のある方の生活状況等

(1) インタビュー

①目的

障害福祉計画策定の基礎資料となるアンケート項目に反映するために、障害者団体の会員の方に対して、困りごとや生活の実態の聞き取りをしました。

②団体名及び実施日

団体名	実施日時
桑名市身体障害者福祉協会	平成26年3月17日(月)16時～
桑名市視覚障害者協会	平成26年3月17日(月)10時～
桑名市聴覚障害者協会	平成26年3月24日(月)18時～
桑名自閉症児者親の会	平成26年3月12日(水)10時30分～
桑名市肢体不自由児保護者会	平成26年3月14日(金)9時30分～
桑名地域精神障害者家族会しぐれ会	平成26年3月12日(水)13時～
精神当事者の会(ぴあぴあ)	平成26年3月17日(月)13時30分～
働く障害者のつどい(ひまわりサークル)	平成26年3月15日(土)11時30分～

③聞き取り時間

1時間～1時間30分

④聞き取り内容

- 1 桑名市でどんな暮らしをしたいですか。
- 2 桑名市がどんなまちだったら住みやすいと思いますか。
- 3 現在の暮らしの中で困っていることはありますか。
- 4 より良い生活のために、ご自身で何ができますか。
- 5 その他

⑤インタビュー結果のまとめ

障害者団体の皆様の多様な意見をいただきました。これらの意見をもとに、アンケートの設問を作成し、実施しました。

第2章 障害のある方を取り巻く現状

(2) アンケート調査結果

①調査目的

「第3期桑名市障害者計画及び第4期桑名市障害福祉計画」を策定するにあたって、本市に居住する障害のある方、障害のない方、民間事業者を対象に生活実態やサービスの利用状況、今後の施策ニーズ、福祉に対する障害のない人の意識、市内の事業所における障害のある方の雇用状況を把握することを目的にアンケート調査を実施しました。

②調査対象者

調査名	対象者
障害のある方調査	障害のある方 3,597人
障害のない方調査	市内在住の20歳以上の人 1,000人
事業所調査	市内における事業所 300事業所

③調査機関

平成26年5月26日～6月25日（調査基準日 平成26年6月1日）

④抽出方法

無作為抽出

⑤調査方法

郵送による配付・回収にて実施

⑥回収状況

区分	障害のある方			障害のない方	企業	
	身体障害者	知的障害者	精神障害者		従業員 50人以上	従業員 50人未満
配布数	1,999	799	799	1,000	94	206
回収数	1,206	370	282	495	54	118
有効	1,205	370	282	495	54	118
無効	1	0	0	0	0	0
有効回収率	60.3%	46.3%	35.3%	49.5%	57.4%	57.3%

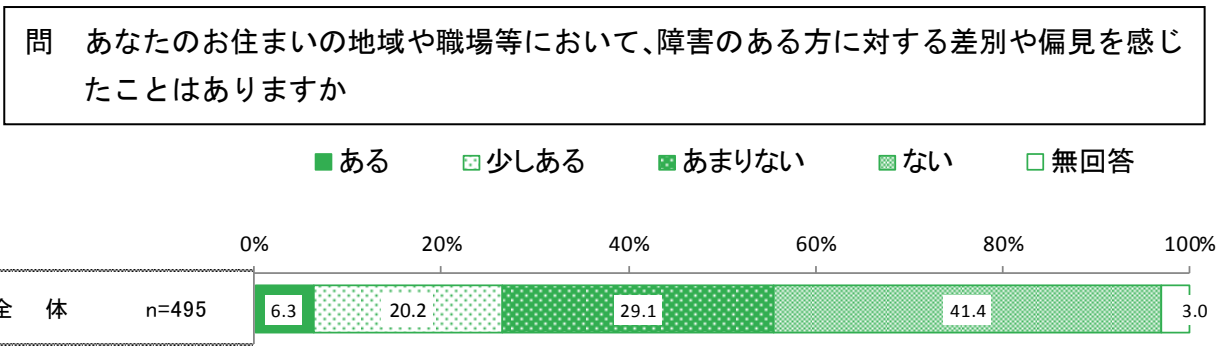
*有効回収数は、回収されたが記入のない調査票を除いて集計した数。

(3) アンケート調査結果のまとめ

①障害のない方に対するアンケート調査結果

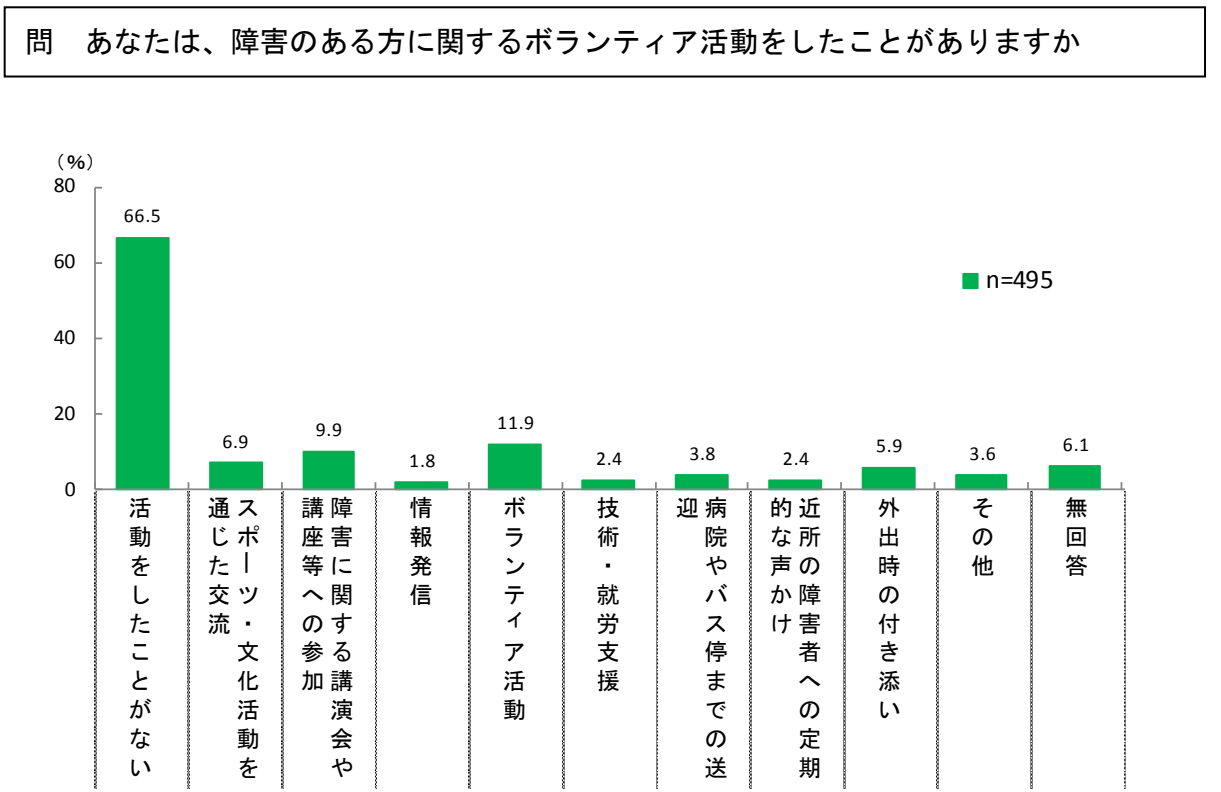
a. 障害のある方との交流理解について

◇ 地域や職場等で、障害のある方に対する差別や偏見を感じた方は 26.5%となっています。



b. ボランティア活動について

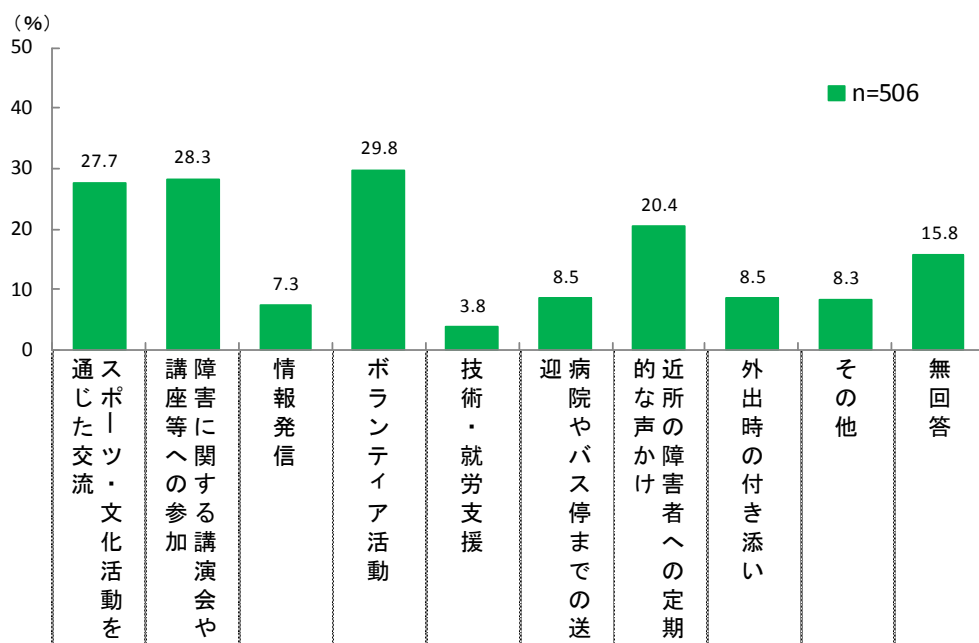
◇ 障害のある方に関するボランティア活動をしたことがない方は 66.5%となっています。



第2章 障害のある方を取り巻く現状

- ◇ 障害のある方へ理解を深めるための活動で参加できそうなことは、スポーツ・文化活動での交流が27.7%、講演会や講座が28.3%、ボランティア活動が29.8%となっています。

問 あなたが、今後、地域の障害のある方のために支援できそうなことはどんなことですか

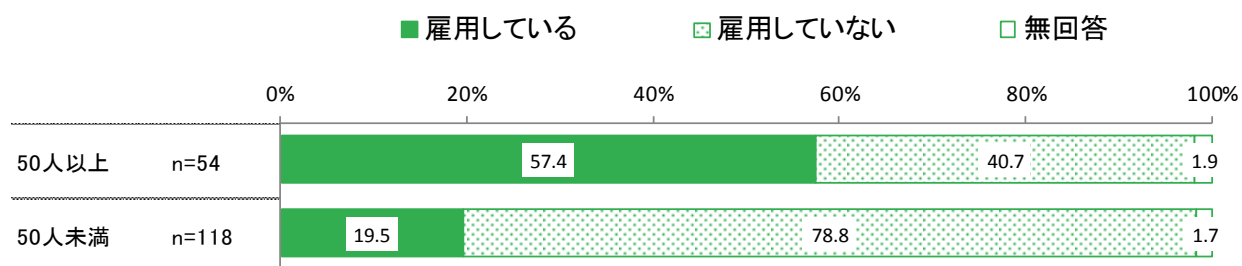


②事業所に対するアンケート調査結果

a. 障害者の雇用状況・障害者への配慮

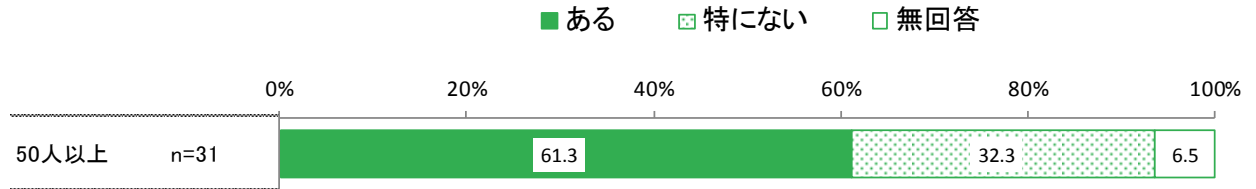
- ◇ 障害のある方を雇用している企業は50人以上で57.4%、50人未満の企業で19.5%となっています。

問 貴社では現在、障害のある方を雇用していますか

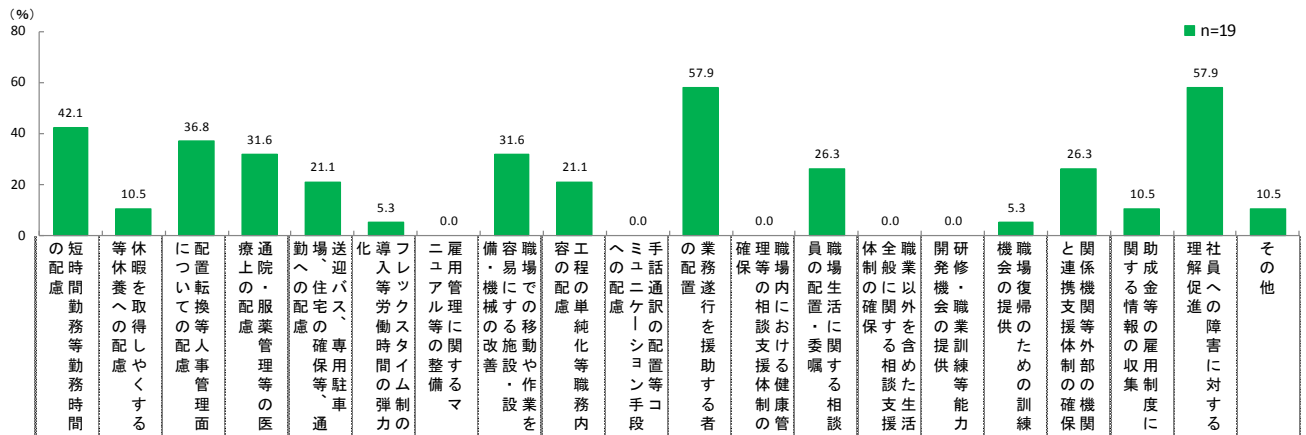


◇ 障害のある方の採用で配慮したことがある企業は61.3%となっています。
 配慮したことは、業務遂行援助者の配置と障害に対する理解促進がともに57.9%、
 勤務時間が42.1%、人事管理面が36.8%、施設・設備・機械の改善が31.6%となっ
 ています。

問 障害のある方の採用にあたって、配慮したことはありますか（従業員50人以上の企業）



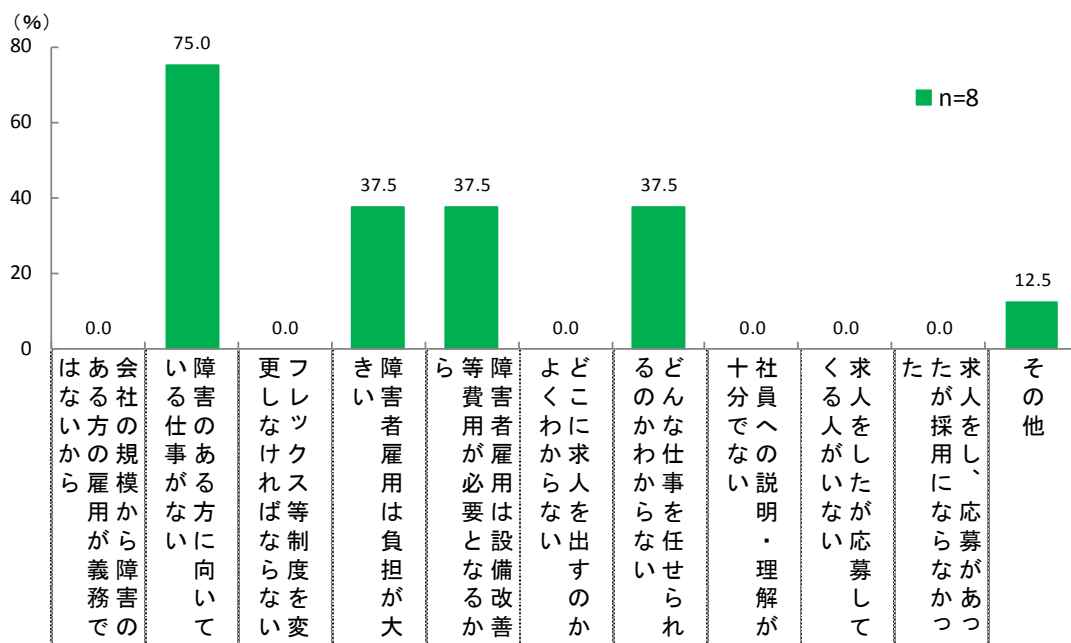
問 配慮したことはどのようなことですか（従業員50人以上の企業）



第2章 障害のある方を取り巻く現状

- ◇ 雇用していない原因は、向いている仕事がないが75.0%、設備の改善が必要が37.5%となっています。

問 障害のある方を雇用できていない理由は何ですか（従業員50人以上の企業）

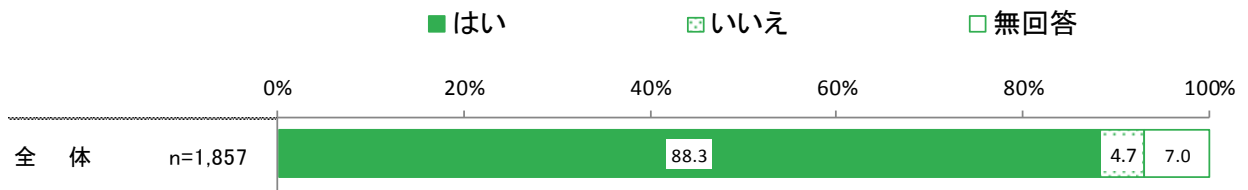


③障害のある方に対するアンケート調査結果

a. 住まいや暮らしについて

◇ 桑名市でこれからもずっと暮らしたいと思っていると 88.3%の方が答えており、その方々が安心して暮らせるように支援するサービスが必要です。

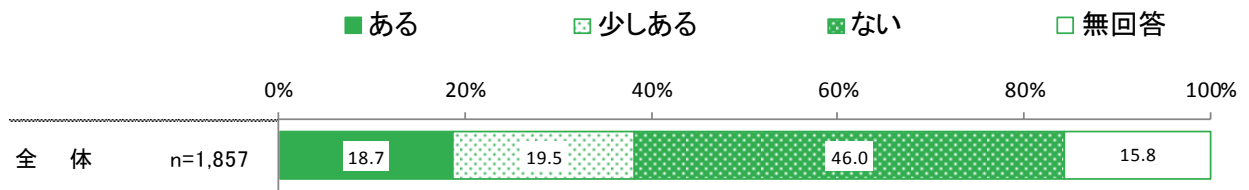
問 あなたは桑名市でこれからもずっと暮らし続けたいと思いますか



b. 権利擁護について

◇ 障害があることで差別や嫌な思いをしたことがあると 38.2%の方が答えており、啓発活動が必要です。

問 あなたは、障害があることで差別や嫌な思いをする（した）ことがありますか

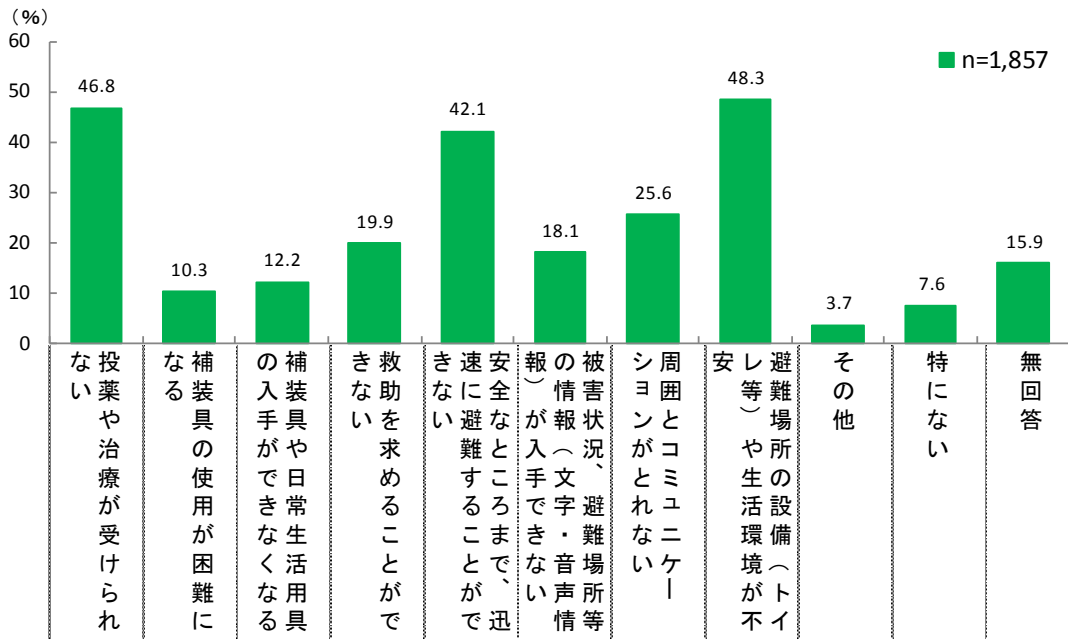


第2章 障害のある方を取り巻く現状

c. 災害時の避難等について

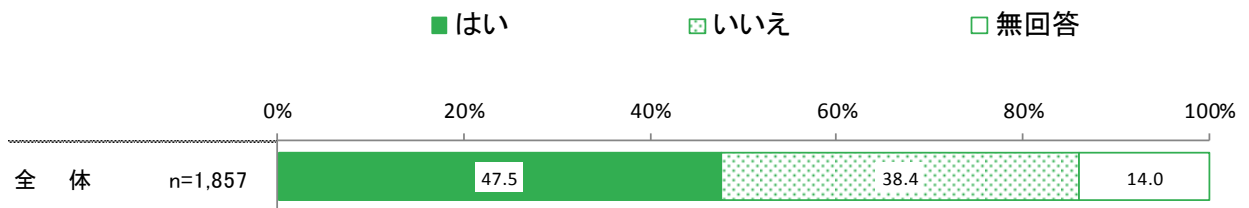
- ◇ 火事や災害時に困ることは、「投薬や治療が受けられない」「迅速に避難できない」「周囲の人とコミュニケーションが取れない」「避難場所の生活環境が不安」と答えた方が多くなっています。災害時の医療の支援方法や要援護者台帳の啓発等が必要です。

問 火事や地震等の災害時に困ることは何ですか

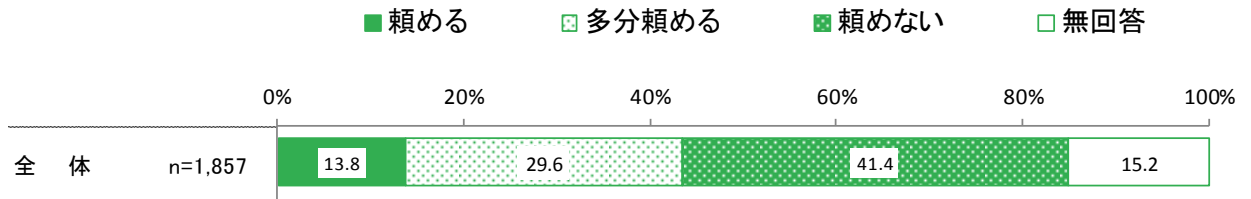


- ◇ 障害のある方で避難場所の確認をしていない方が 38.4%います。
- ◇ 近所の人に支援を頼めない方が 41.4%います。
- ◇ 介助者や知人と避難について話し合っていない方が 60.3%います。
- ◇ 備蓄をしていない方が 49.9%います。

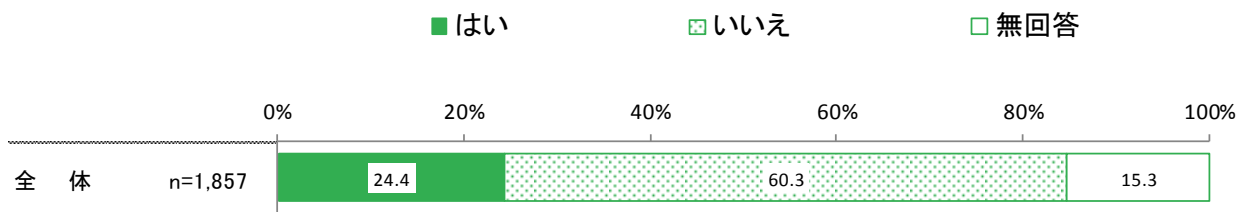
問 あなたは、避難場所の確認をしていますか



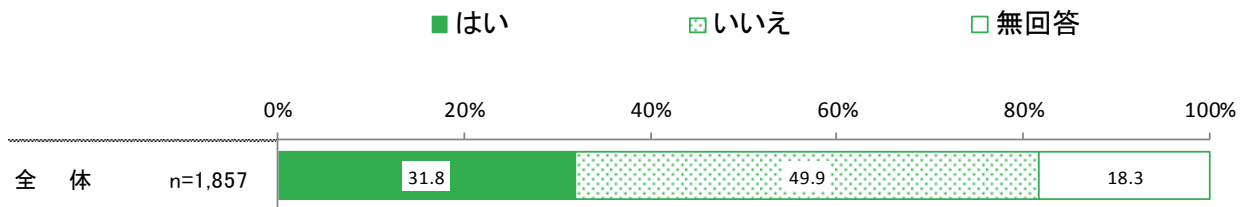
問 あなたは、近所の方に支援を頼めますか



問 あなたは、介助者や知人と避難について話し合いをしていますか



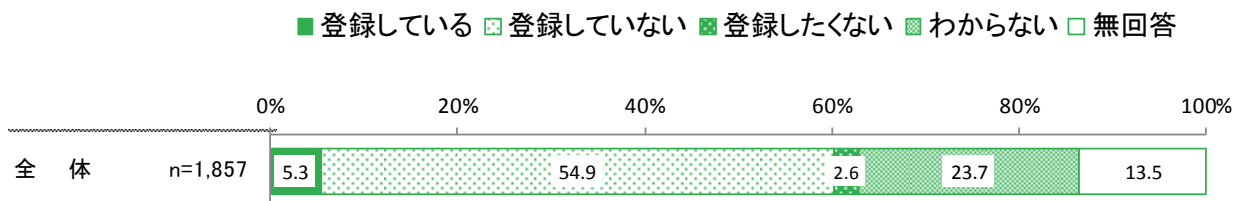
問 あなたは、備蓄をしていますか



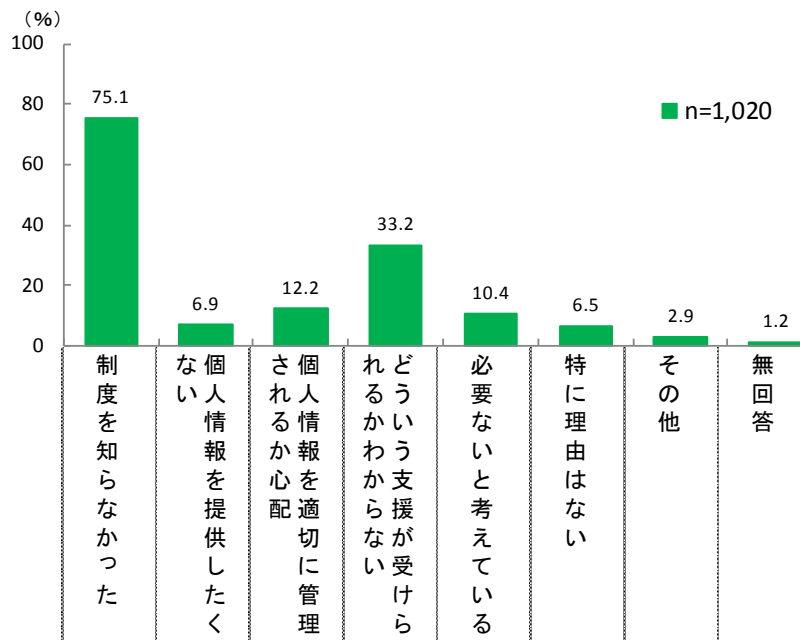
第2章 障害のある方を取り巻く現状

- ◇ 要援護者台帳に登録していない方が54.9%います。
- ◇ 要援護者台帳を知らない方が75.1%います。

問 桑名市では、災害が発生したときに、すばやい対応が困難な高齢者や障害者の避難を、地域の支援者に手助けしていただくため、「要援護者台帳登録」の制度があります。「要援護者台帳」とは、地域で情報を共有し、支え合うことで高齢者や障害者が安心して暮らせるまちづくりを実現しようとするための基になるものです。あなたはこの要援護者台帳へ登録していますか



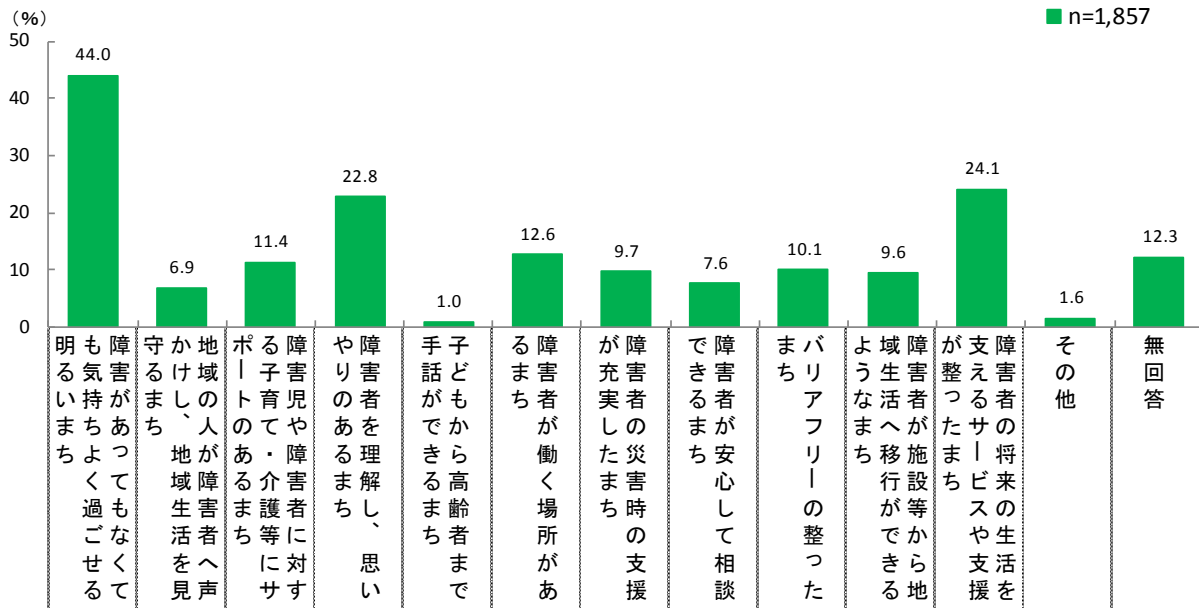
問 登録していない理由は何ですか



d. まちづくりについて

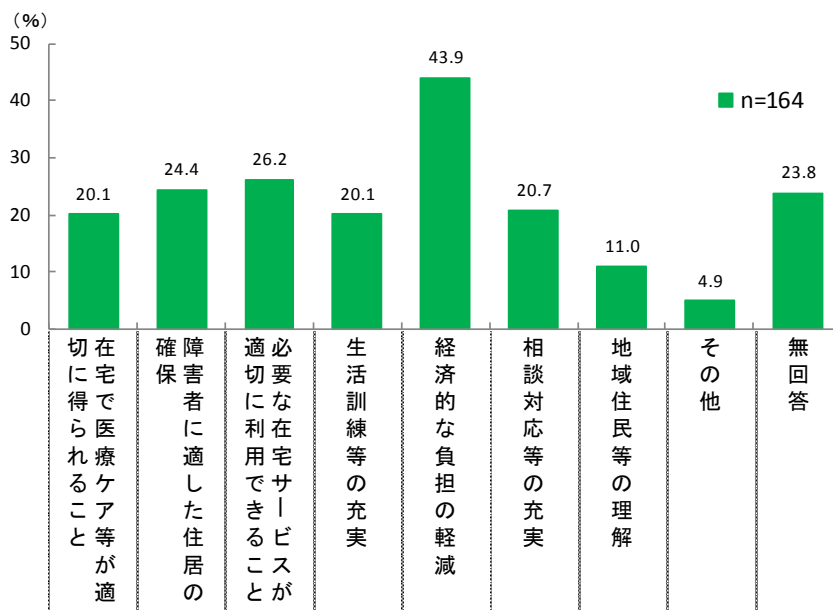
◇ 暮らしやすいまちについては、障害に関係なく気持ちよく過ごせる明るいまちが44.0%、理解し思いやりのあるまちが22.8%、将来の生活を支えるサービス等が整ったまちが24.1%、働く場所があるまちが12.6%となっています。

問 障害のある方が暮らしやすくなるために、桑名市がどんなまちになればよいと思いますか



◇ 希望する生活をするために必要な支援については、経済的な負担軽減が43.9%、住居の確保が24.4%、在宅サービスの利用支援が26.2%、相談対応の充実が20.7%となっています。

問 あなたが希望する生活をするためには、どのような支援があればよいと思いますか

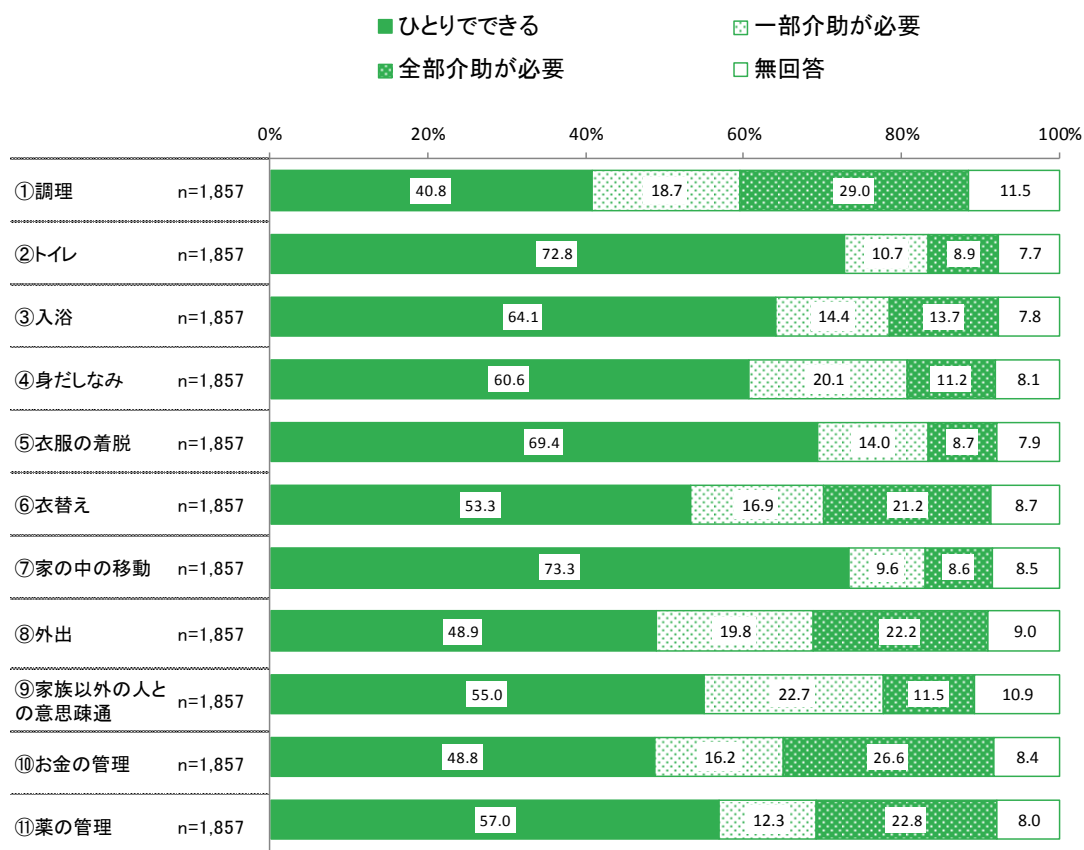


第2章 障害のある方を取り巻く現状

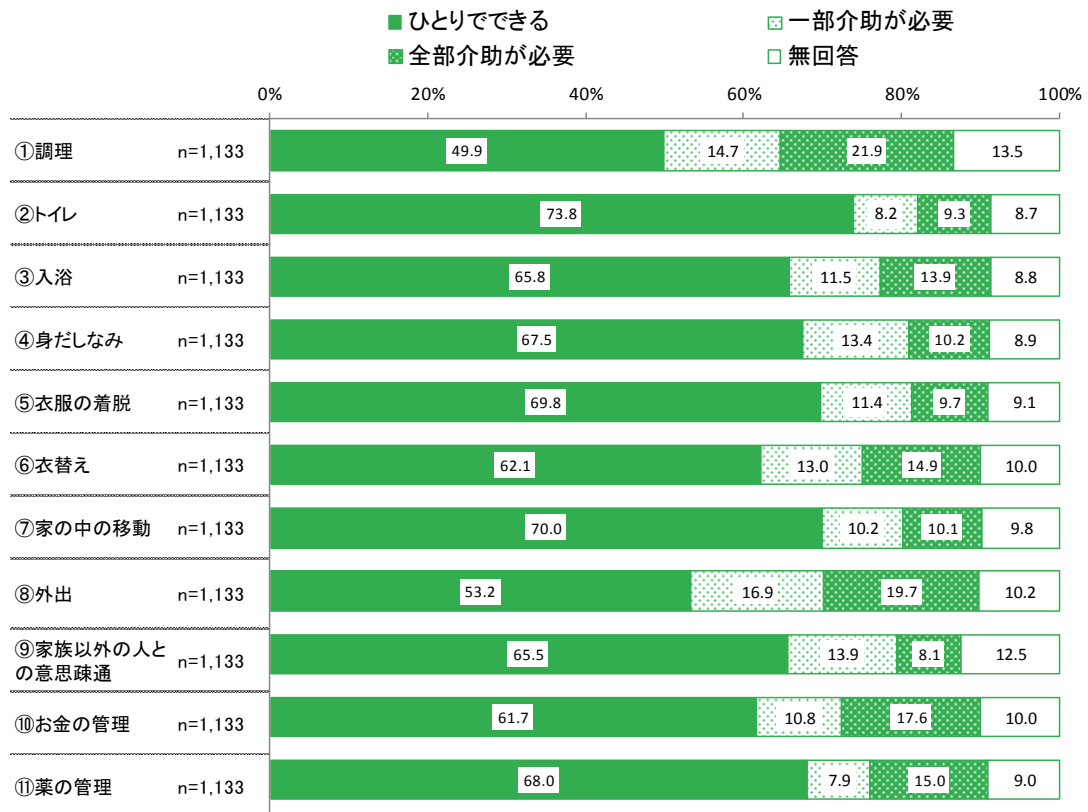
e. 性別・年齢・ご家族等について（日常生活の状況）

- ◇ 日常生活の介助の内容は、障害の種類や状況によって異なります。
- ◇ 調理や外出、お金の管理が介助を要する人が多くっており、包括的なサービス支援が必要です。

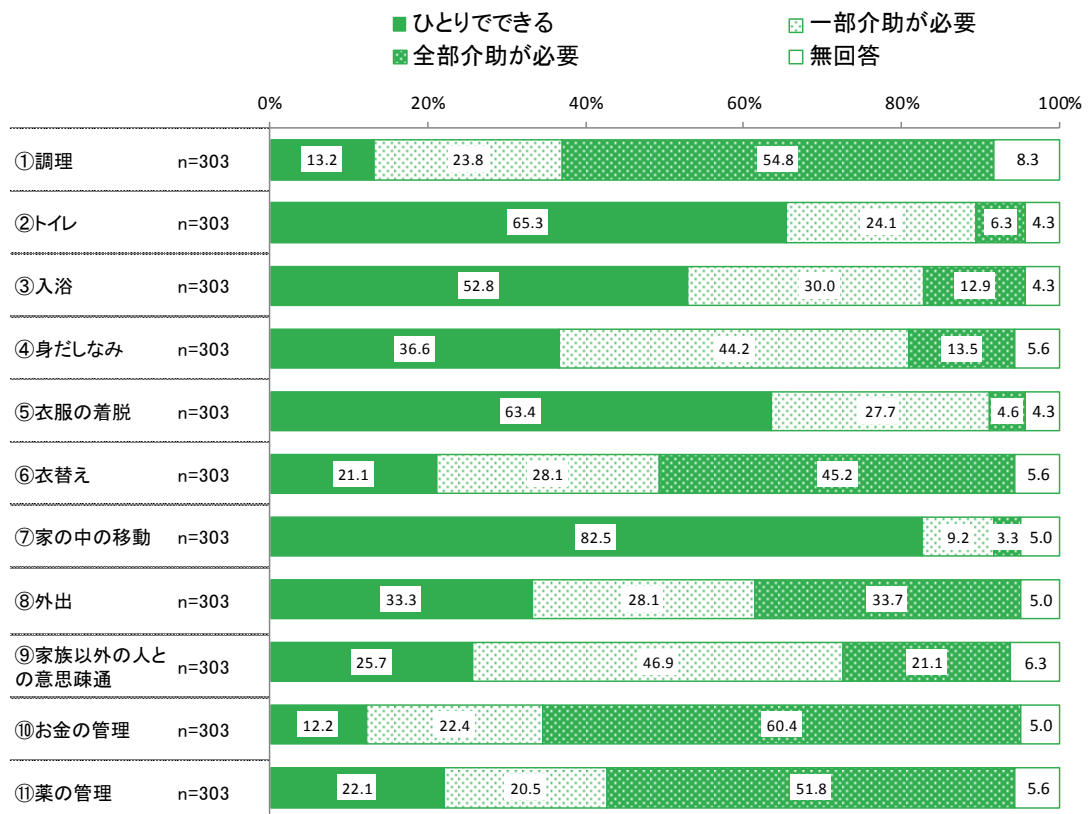
問 あなたは、日常生活で、次のことをどのようにしていますか（全体）



問 あなたは、日常生活で、次のことをどのようにしていますか（身体障害のある方）

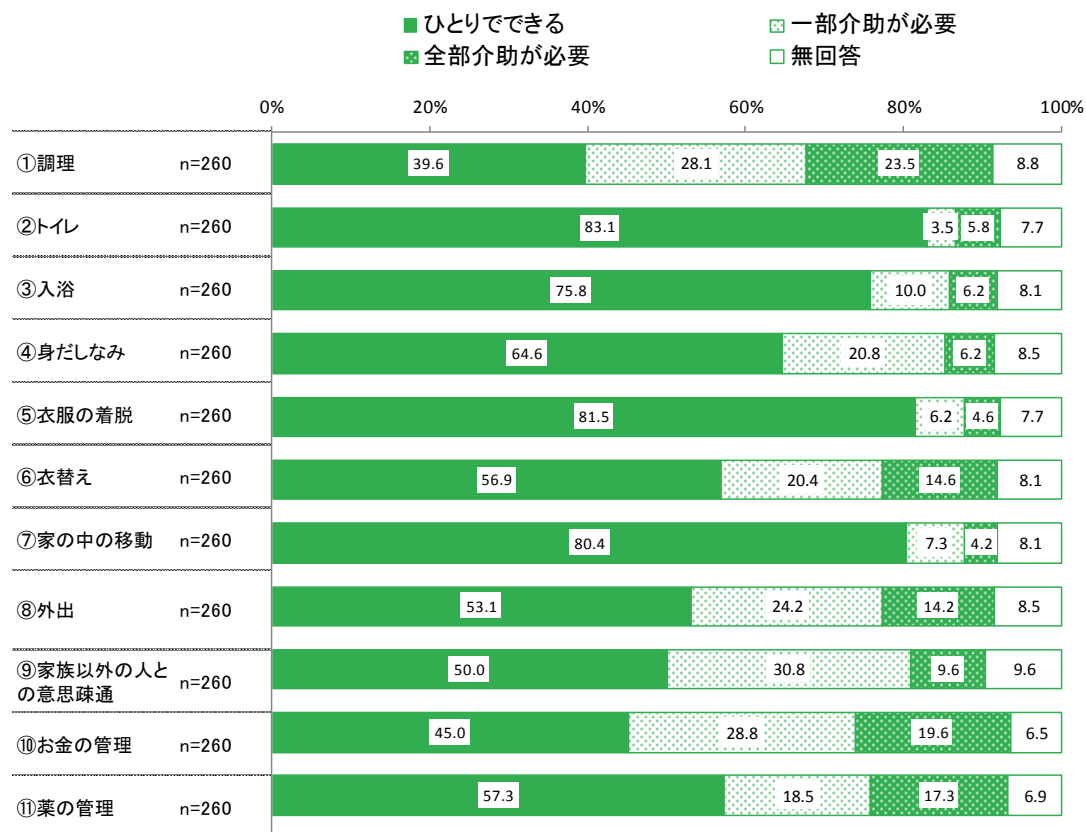


問 あなたは、日常生活で、次のことをどのようにしていますか（知的障害のある方）



第2章 障害のある方を取り巻く現状

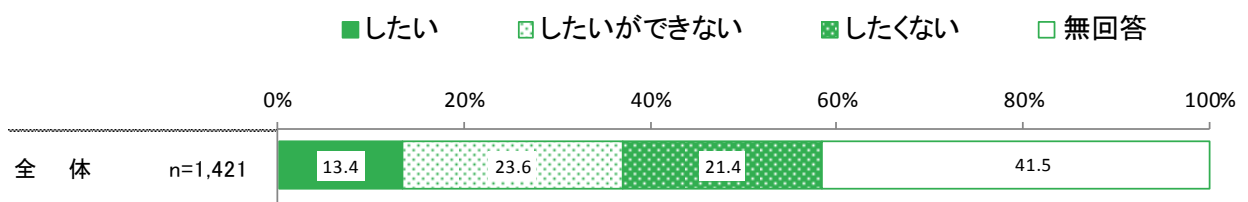
問 あなたは、日常生活で、次のことをどのようにしていますか（精神障害のある方）



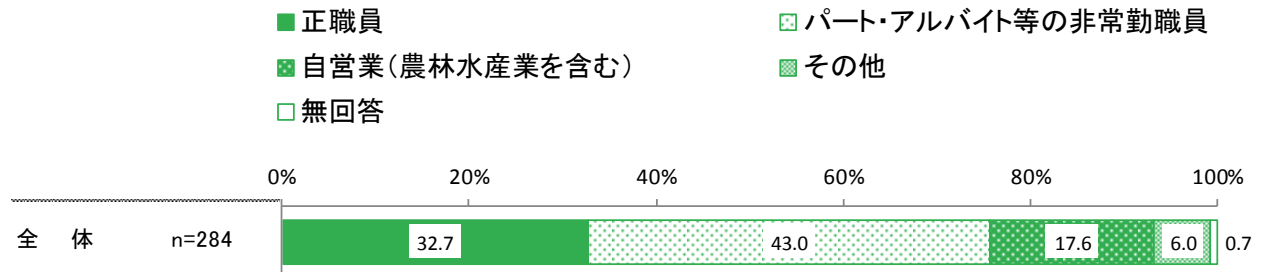
f. 今後の就労意向・就労支援策

- ◇ 収入を得る仕事をしたいができない方が 23.6%となっています。
- ◇ 勤務状況は、正社員が 32.7%となっています。
- ◇ 支援として職場の理解や職場と行政の連携等を必要としている。関係機関の連携が必要です。

問 あなたは今後、収入を得る仕事をしたいと思いますか

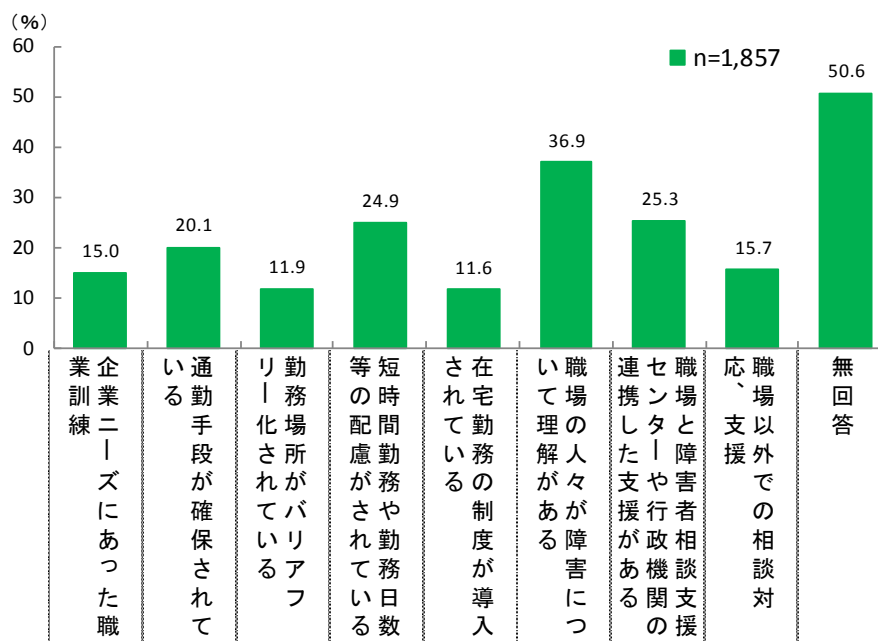


問 どのような勤務形態で働いていますか



第2章 障害のある方を取り巻く現状

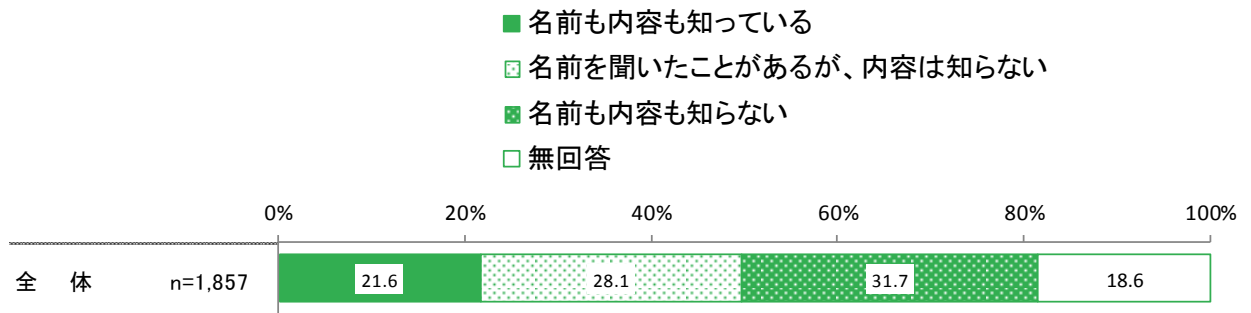
問 あなたは、障害のある方の就労支援として、どのようなことが必要だと思えますか



g. 成年後見制度・日常生活自立支援事業

◇ 成年後見制度や日常生活自立支援事業を知らない方が多くなっているため、啓発活動が必要になります。

問 判断することが困難な障害がある方等の権利を擁護するため、財産管理等の法律行為に関する援助や生活面の支援等を行う成年後見制度についてご存じですか



問 障害のある方が、地域で自立した暮らしが送れるよう、生活支援員が福祉サービスの利用手続きの手助けや日常的なお金の管理の手助けを行う日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)についてご存じですか

